Project No.
15 | 交通

AIオンデマンド配車システム「TAKUZO」による定額乗り放題の乗合タクシー導入事業

採択事業者名 株式会社バイタルリード

コンソーシアム構成員 リージョナルデザイン株式会社 | 東温自動車交通有限会社 | 川上タクシー | 東温市産業建設部都市整備課

目 的

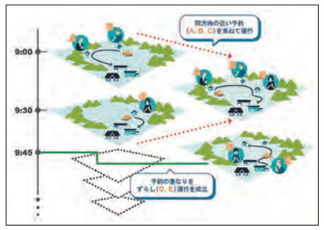
地方公共交通において持続可能な仕組みを構築し、利用者（高齢者等）、交通事業者、行政の課題を同時解決する。

課 題

地方部における地域（利用者）の移動不便解消、交通事業者の収益性向上、行政の移動手段確保に係るコスト抑制。

解決策

独自のアルゴリズムで地域の幸せを実現する“そこそこ便利”な定額乗合タクシー「TAKUZO」。タクシーが比較的空いている時間帯に1台の車両で運行する。効率性よりも全体最適を軸としたアルゴリズムで1運行あたりの利用客を最大化し、運行コストを最小化することで安価な定額サービスを実現する。



検証項目

利用者の活動活性化
利用することで外出が増えたか（利用者アンケート、利用実績データ）

利用者の満足度
利用者はサービスに満足したか（利用者アンケート）

交通事業者の事業性
交通事業者の事業として黒字化の目途が立ったか（事業者ヒアリング）

行政のコスト削減
既存の移動手段より安価に地域の移動が確保できたか（行政ヒアリング）

取り組み内容

東温市北方エリアにて定額乗合タクシー「TAKUZO北方」を実証運行
令和4年12月～令和5年2月の3カ月間、定額乗合タクシー「TAKUZO北方」を実証運行。利用者は登録をして1か月定額の運賃（大人3,000円／月）を支払い、横河原駅や川内エリアの主要施設等への移動に利用できる乗合タクシーに乗り放題となる。

地域の関係者に概要説明し利用者獲得に向け協力依頼
自治組織役員、民生委員、ケアマネジャー等、主に利用が想定される高齢者につながりがある関係者にサービス概要を説明し、利用者獲得に向けた協力を依頼。また、公民館等で開催されるサロンで個別説明を実施。

成果・結果

利用者の活動活性化
利用者全員の外出回数が以前より増加した。

利用者の満足度
利用者の満足度は4.25（5段階評価）と概ね良好。

交通事業者の事業性
現時点では利用者が少なく（5人）、黒字化は困難。

行政のコスト削減
今回の東温市北方エリアは、既存の乗合サービスが無い場所のため、導入によりコスト増となるが、先行事例レベルの利用率（75歳以上人口の20%）に達した場合、路線バスより安価なコストで地域の移動を確保できる見込み。

今後の見立て・意向

高齢者が主なターゲットとなり、サービスが浸透するまで時間を要するため、長期的な視点（少なくとも1年以上）で取り組めるフィールドを選定する必要がある。また、競合する移動サービスが少なく、担い手の役割分担がしやすいエリアで導入することも必要。競合サービスがある場合でも、長期的な取組の中で必要に応じて目的地までの直通運行についても試行し、その影響を評価する。事業性確保の観点から、ある程度の人口規模を有する不便地区で導入する必要あり（または既存サービスとの代替）。サービスを早く浸透させるため、対象エリアの高齢者等と直接対話できる地域関係者、沿線施設を早期に巻き込み、関係者の協力を得ながら周知を図ることが重要。

取得データ

配車システムに蓄積された利用実績や運行履歴から利用者の利用実態等を把握した。また、利用者にアンケートを実施し、外出回数の変化やサービスへの満足度を把握した。その他、交通事業者と行政に対してヒアリングを実施し、事業の収支見込みや行政コスト削減見込みについて詳細を把握した。

データ活用による考察・示唆

サービス利用者は確実に外出回数が増加し、満足度も高かったが、短期間の実証で利用者が少なく現状で黒字化は厳しい状況。単独で黒字化するためには、利用者を大幅に増やす必要がある一方、先行事例程度の利用者（75歳以上人口の2割程度）がいれば、行政が赤字部分を負担しても路線バスの補助金より安価となる可能性があることがわかった。

Copyright © EHIME Prefecture. All rights reserved.